

カキ生育情報

千葉県
平成20年7月号

【6月の気象】

平均気温は、第2半旬を除いて平年に比べ0.7～2.8℃低く推移し、月平均気温は19.6℃で平年より低かった。

降水量は第2～第4半旬で平年よりも少なく、その他の半旬は平年よりも多かった。特に第5半旬は206mmで、平年の4倍程度の雨量があった。月合計降水量は433mmと平年に比べ2倍程度の雨量であった。日照時間は、第1、第5、第6半旬で平年よりも少なかったが、その他の半旬では平年を上回った。月合計日照時間は104時間で平年よりも約30時間少なかった。

表1 平成20年6月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月	1	17.2	20.0	68	26	16	28
	2	20.4	20.3	20	30	26	25
	3	19.4	20.5	38	44	26	23
	4	20.6	21.3	18	44	22	21
	5	20.3	21.2	206	51	12	19
	6	19.8	22.2	83	38	2	19
合計/平均		19.6	20.9	433	233	104	135

【樹の生育】

暖地園芸研究所の西村早生は、昨年より横径、縦径ともに小さく、平年よりも小さかった。また松本早生富有及び富有は昨年と同程度で平年よりも小さかった。着果量は西村早生、富有が多く、松本早生富有やや少なかった。いずれの品種も、小果や奇形果の発生、樹間あるいは樹内での着果ムラが多い。なお、本年の生理落果は6月上中旬に始まり現時点で終了していると思われ、いずれの品種も落果量は少なかった。病虫害では、いずれの品種でも目立った被害は見られなかった。

いすみ市の西村早生では果実の発育は昨年より遅れており、着果量は昨年よりも少ない。また目立った病虫害は確認されていない。

市原市の松本早生富有の着果量はやや少なかった。病虫害ではカキノヘタムシガの幼虫の発生が確認できている。

表2 果実の発育(平成20年6月30日)

品種	調査地	横径			縦径			果径指数		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生	いすみ市	2.5	3.6	-	2.1	2.8	-	1.19	1.29	-
	暖地園研	3.1	3.5	3.5	2.5	2.8	2.7	1.27	1.25	1.29
松本早生富有	市原市 ²⁾	3.6	3.5	-	2.8	2.6	-	1.29	1.35	-
	暖地園研	3.2	3.2	3.6	2.5	2.7	2.9	1.26	1.20	1.26
	暖地園研	3.1	3.2	3.5	2.5	2.7	2.8	1.24	1.21	1.25

注1) 平年値は、暖地園芸研究所における平成2年から16年間の平均値

2) 市原市では7月8日に果径調査を実施

【7～8月の作業の要点】

摘果

西村早生では、果頂部が凹んでいる果実あるいは部分的な生育不良により不整形になった果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも、渋果を樹上選別するための摘果を行うので、7月の時点では目標着果数(10a当り12,000果)より2割程度多め(10a当り14,000～15,000果)に果実を残しておく。

枝管理

不定芽(陰芽)が発生する場合は、枝葉が込まないように芽かき、摘芯を行う。また、枝葉が込み合っているところや葉が傷んでいる場合も、病害の発生を抑え、枝の充実を図るため、枝や葉を間引きして風通しを良くする。特に、炭疽病の発生した軟弱な枝は必ず摘除する。なお、2次伸長枝はこの時期は放任する。

枝葉が少ない場合は徒長枝なども剪除せずに、ねん枝や誘引によって葉数確保に努める。

病虫害防除

7月から9月上旬は、炭疽病、落葉病、うどんこ病とカキノヘタムシガの防除時期であるが、西村早生などの極早生種では、薬害の恐れがあるために使用時期に留意する。カキノヘタムシガの2回目の幼虫の食害が始まるため、8月中旬に防除を行う。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8～9月が防除適期となる。

すべての薬剤散布は千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

《生育情報の問い合わせ先》

※ 千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室 TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも

ごらんいただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>